



二輪睦

八咫鳥

鼓動隊

風を感じ、鼓を打ち、心で奉納！

鼓動隊は大鼓を持って、バイクで出かけ、世界中どこでも奉納します！

● 八咫鳥・鼓動隊とは ●

モーターサイクルクラブ「八咫鳥」(ヤタガラス)は1991年に発足しました。「八咫鳥」の名称は、初代会長、故藤木芳清氏が熊野本宮大社より正式に使用許可いただいたもので、発足以来、毎年、熊野本宮大社参拝ツーリングを続けています。現会長大倉正之助氏も、その遺志を受け継ぎ、参拝時には大鼓にて二輪交通安全祈願奉納を行なってきました。

発足メンバーの一人は、参拝を重ねるうち、交通安全を広く解釈し、歩く道、走る道、飛ぶ道、さらには人生の道、それら全ての道中安全祈願と感謝の気持ちを表現できる方法はないかと考えるようになりました。

バイクは原始的な乗り物で、自然の様々な力と人間とのバランスを保って走ります。その楽しさは大自然の恩恵を受け、人と自然の共存を感じられることにあります。それら森羅万象と交信するすべを求めた時、自然と大鼓にたどり着きました。

こうして、2006年秋、有志が集まり、日本はもとより世界各地にオートバイで参上し、大鼓で奉納活動を行う「鼓動隊」が誕生しました。メンバーは5歳から63歳の職業・国籍、様々な16名で構成され、大倉正之助氏より助言を頂き活動しています。

● 今までの活動 ●

2007年3月 日蓮宗大本山 池上實相寺

2007年3月 津島神社

2007年5月 17回目の熊野本宮大社参拝

(熊野速玉大社、熊野那智大社、熊野本宮大社、玉置神社、天河大弁財天社、綱敷天神社、生国魂神社)

2007年6月 静岡県小田原市城山 田植え奉納

2007年7月 フランス大使公邸での奉納

2007年8月 箱根神社1250周年記念、バイクの日奉納

他

● 大倉正之助氏 ●

重要無形文化財総合認定保持者。室町時代より続く鼓の名家・大倉流の大鼓方能楽師、大鼓奏者。

能は総合芸術で大鼓方だけが単独で成り立つ概念はありませんが、大倉正之助氏は1000年前の古代の形、大鼓ソリストとして新たな分野を確立しました。様々な国の多彩なアーティストとのライブパフォーマンス活動など、大鼓という日本古来より伝わる打楽器を通じて、伝統文化とその新たな可能性を追求しています。ローマ法王より招聘されてパチカン宮殿内のクリスマス・コンサート、ニューヨークメトロポリタン美術館での「オリベ2003 in NY」、スイス・ダボスでの世界経済会議(東京ナイト)等、世界各国の式典やイベントで「大鼓独奏」を披露、一人のアーティストとして、さらにはプロデューサーとしても日本文化を世界に向けて発信しています。

大倉正之助氏曰く「バイクは現代の馬」。彼は、その鉄馬を乗りこなすモダンサムライ、モーターサイクルクラブ「二輪睦八咫鳥」の会長です。